

# 令和元年度 第1回越前町地域公共交通会議

## 議事録

開催日時：令和元年6月24日(月)  
午後2時00分から午後3時30分まで  
開催場所：越前町生涯学習センター  
2階 会議室1・2

### ●出席者

- ・委員：18名  
(欠席者1名 矢部委員)
- ・事務局：6名 出口総務理事、石田企画財政課長、谷口課長補佐、河合主査、坂下主査、林主事補

### ●議事概要

#### (1) 平成30年度コミュニティバスおよび路線バスの状況について

事務局	事務局より説明
浅沼議長	ただ今の説明において、ご質問やご意見があればお願いします。
浅沼議長	1ページのコミュニティバスの状況について、ピーク時に比べると利用者が半分くらいとなっており、厳しい状況かと思われる。特に織田地区の乗合の減少が顕著であるが、その原因は何か
事務局	織田乗合ルートは29年度が231名であり、29年12月ごろから利用者が3名前後と減ってきている。30年度は3名から始まり3月には0人と、年間で33名の方が利用している。 これほど減少した原因は入院された方や死亡された方、また別のところに住む家族のところに引越した方もいる。31年度は4月が1名、5月が5名と少なく、昨年度と今年度の状況を見て、次の議題にはなるが、このルートの定期便で走っている便をデマンドに変えてほしいというのが次の議題である。
浅沼議長	乗っている人は決まっており、月に何回も利用されるので1名でも利用する人が減ると大きな影響が出てくると思う。 ほかに質問はあるか。
時田委員	通学定期券の購入だが、人数は33人減少しているが、金額は39万800

	0円増えているのはなぜか。
事務局	表記は延べ人数での集計となっている。29年度については新1年生で部活に入るか入らないかなど、確実に申請したルートで行けるかわからないので通学定期を購入したいが、長期間の購入はできるだけ控えたいと主張する保護者もいた。一人当たりで割り返すと、29年度は13万2600円、30年度は13万2400円と一人当たりの補助単価はほとんどかわらない。町としても町の補助の負担が極力大きくならないように、福井鉄道のキャンパス定期という格安の定期券を年間で購入するなどの指導をしている。
浅沼議長	コミュニティバスは過去10年ほどのデータがあるためわかりやすいが、路線バスは資料が29年度からしかない。20年度くらいからのデータはないのか。長期的にみて越前町の公共交通全体としてどのような需要の変化を把握できるし、今後の在り方についても話しやすいと思う。
事務局	手持ちの資料がないので次の会議の資料を送るとき、もしくは次の会議の時には提出する。
浅沼議長	コミュニティバスの利用状況がルートごとに出ているが、バス停ごとの利用人数はわかるか。
事務局	バス停ごとの集計はしている。手持ちの資料がないのですがすぐに回答はできないが、把握している。
浅沼議長	今の状況から考えると根本から見直す必要があるので、公共交通全体として利用がどうなっているか、使われていないバス停がわかれば考えられるかもしれない。もっとデータがほしい。最後の議題でアンケートがあるがそういったアンケート結果と同時にそういったことも踏まえて考えていければいいと思う。
事務局	町としても、アンケートの集計の時にコミュニティバス全体を見直したいという思いがあり、今も交通デザイン等を検討している。運行事業者より日報月報を受け取っていてその状況を把握しているので、今後このような会議の時には委員の皆様によりわかりやすい資料を提出しようと思っておりますのでよろしくお願いします。
浅沼議長	何かございませんか。なければ次の議題に移らせていただきます。

## (2) コミュニティバス運行形態の一部変更について

事務局	事務局より説明
浅沼議長	只今の説明において、ご質問やご意見があればお願いします。
佐々木委員	デマンドというが、利用者が言葉の意味や利用方法を理解できるか。住民に説明を徹底してほしい。
事務局	1便、4便は定時運行だが2便、3便は現在もデマンド方式で運行している。乗客についてはドライバーさんに協力してもらい、すべてデマンド便となることを説明していただく予定である。入尾、笈松区長にすべてデマンド運行にしてもよいかと聞き、了解も得ている。もっと優しい交通がないのかとも考えたが、今回につきましては2便、3便に合わせたデマンド方式での運行

	ということになりました。
時田委員	30年度は33名利用者がいて、1便から4便のそれぞれの利用者数はわかるか。
事務局	1便、4便がほとんどで、2便、3便は利用がほとんどなかった。
時田委員	要するにデマンド便の利用がなかったということか。
事務局	そのとおりである。
時田委員	デマンドになったから利用者が減ったという話ではないか。
事務局	そうではなく、利用が少ないからデマンドにしたという経緯がある。1便は笈松を9時に出る。織田病院を利用される方はほとんどこの便を使う。そういう方が月に2、3人いるかいないかなのでほとんどのバスが空で走り、もったいないのでデマンドにしてよいと、区長のほうからも言っていた。
西野委員 (代理 川崎主任)	デマンドの説明の話ですが、区長の了解を得たのは良いが、住民に乗り方教室等の予約の方法の説明はしているのか。
事務局	町からの直接の説明は考えておらず、実際バスに乗った方にドライバーさんを通じて説明を個人個人にしていこうと考えている。区長にはそのように言っているが、もし問題があれば見直していこうと考えているが、今はこの方法でしようと思っている。
内田委員	2便、3便についてデマンド便は予約しても決まった時間にしか来ないので利便性が悪い。予約したら自由な時間に迎えに行くようなシステムのほうが使いやすい。そのようにはできないか。
事務局	越前町が国から許可をもらって運行しているバスはそういった運行はできなくなっている。そういったことも含めてお客様が使いやすいようにと検討はしているが、現状は決められた場所に決められた時間にしか運行できない。無駄なことはしたくないので、たとえば入尾から織田病院の予約が入ればルート通り最初から走るのではなく、乗車地から目的地まで運行するという融通を効かせた運行をしているが、いつでもどこでもというような運行はできない。
浅沼議長	今後のことは国の許可等のこともあるので現時点で結論は出ないと思う。今は全便デマンド方式の運行にすることについてご意見があればいただきたい。 1便で来た方はどうやって帰っているのか。
事務局	間違いないとは言いきれないが、帰りのみ家族に迎えに来てもらったり、たまたま知り合いに送ってもらったりしている。
浅沼議長	説明を聞くと、2便、3便が不要なのではないか。
事務局	状況がさまざまなので何とも言えない。
時田委員	現状ではコミュニティバスにたくさん予算を使っているが、織田の乗合をなくして、浮いた予算でタクシーに対する補助金を出すことはできないのか。
事務局	福祉タクシーの補助は民生のほうでしているが、現段階ではそれはできない。今後計画を立てて許可の取り方を変える必要があるのですぐには難し

	い。
浅沼議長	町内でデマンド方式の運行をしているのはどのルートか。
事務局	環状ルートと越前巡回ルート以外の6ルートでデマンド方式の運行を取り入れている。利用者がいなくて、空で走ることが多い便をデマンドにしている経緯であるので、巡回ルートでも利用状況によりデマンド方式の運行にしている便がある。
吉村委員	第一回から出ているのですが、これをやってよかったという話はない。どこにプラスマイナスがあったのかをしっかりとしないといけないと思う。新しいバス停を設置してもほとんど利用者がいないバス停もある。できるだけ予算を有効に使うことを考えないといけないと思う。
浅沼議長	それは今後やってもらうということで。 事務局から提案された織田乗合ルートの全デマンド化については住民の周知を徹底してもらうというのを付け加えて、ほかに何か意見はございませんか。 ないようですので採決に移らせていただきます。賛成できる方は挙手お願いします。
	挙手多数
浅沼議長	採決されましたので、現在の利用者に周知を徹底してもらうことと、次回の会議で、需要の状況を公表してもらうことをお願いします。

### (3) その他運行形態の検討について

事務局	事務局より説明
浅沼議長	アンケートの実施について質問等あればよろしくお願いします。
時田委員	2500人のサンプリングはどのようにされるのですか。
事務局	各地区の意見をいただきたいので朝日1000人、宮崎500人、越前500人、織田500人をランダムで抽出する。
時田委員	問8の数字はなにか。
事務局	運行経費の総額であり、現在の実情報を皆さんに知っていただくために経費を明記するというのを計画している。
山下委員	十分信頼できる数字の最低限でいいのでは。2500という数字は大きすぎるのではないか。また2500という数字と地区ごとに分けた根拠を教えてください。
事務局	郵便で送り郵便で返すアンケート調査の返答率は3割程度なので1000人くらいのサンプルをとるために2500人にしてある。またバスが各地域を回っているので各地域の利用されている方の意見を聞きたい。それを確保するために朝日以外は500人ずつにし、朝日地区は人口が多いので1000人にした。
浅沼議長	このアンケートは初めてでないのなら、前回のアンケートとの比較がどれほどできるのかを教えてください。
事務局	前回は平成25年に実施した。前回と同じ項目もある。

時田委員	このアンケートの目的は存続という意味ではなく、運行形態についてのアンケートか。
事務局	意識調査を行いまして、コミュニティバスを今後どうしていくか検討するためにアンケートを行う。
時田委員	字は大きくしたほうが良いと思う。
浅沼議長	時期はいつごろか。
事務局	7月下旬に発送し、結果は8月中にはでる。次回の会議で結果を示し、相談したいと思っている。
時田委員	15歳に中学生は入るのか。
事務局	中学生を除く15歳以上とする。
浅沼議長	ほかにアンケートに関してのご意見よろしいですか。 会議は年度内にもう一度あるということか。
事務局	案件があればということですが、アンケートの結果がまとまり次第ご案内したいと思っている。
浅沼議長	たくさんご意見、ご提案がされましたので、今後それらを踏まえてまとめながら進めていきたいと思っておりますのでよろしく願いいたします。 これで令和元年度第一回越前町地域公共交通会議を終わります。 ありがとうございました。